



環境配慮型農業実践塾 報告書

代表取締役 道法 正徳

日時	令和2年12月17日(木) 10:00~
場所	丸田さん園地(津奈木町倉谷地区)
参加者	管内果樹農家等 (津奈木5名)
概要	<p>【オンライン学習】</p> <p>収穫の前に、先月予習した注意事項について復習する。 水俣の生産者は、当日キャンセルが相次ぎ津奈木の生産者のみ で開催。</p>  <p>果実の表面には、油胞(ゆほう)というツブツブがあって収穫した時に衝撃を与えるとこの油胞が潰れてしまう。 消費者の手元に届くころ、腐れの原因となることから衝撃を押し さえるためのポイントとして「クッション」を利用する。 品質の良い商品を提供できる農家として、責任を持つ。</p>



表面に見えるツブツブが油胞
潰れると爽やかな香りがする。

	先生	受講者
運搬かご	25mmのウレタンクッション（丸型） ズレないように、両面テープを貼る	10mmのスチロールシート（四角）
コンテナ	新聞紙2枚 	新聞紙1枚 
	コンテナの7割まで入れる	コンテナいっぱい入れる

これと前後して、「分割採集」を推奨。
同エリアの樹であっても、枝の内側・外側・上部・下部で色づき、甘さ、サイズが異なるため、腰を基準に収穫の時期をずらし、品質の均一化を図る。